

ほけんだより 2月

3 立ろう保第 65 号
令和 4 年 2 月 3 日
東京都立立川ろう学校
校長 村野 一臣

全国的に新型コロナウイルス感染症の罹患者数が増加しています。

引き続き、基本の感染症対策として、手洗い、手指消毒、不織布マスクの着用、換気、密にならない…等々を意識しながらこの難局を乗り切りましょう。

2月の保健目標 早寝・早起き・朝ごはん！

朝ごはんを食べないことによる体調不良者が時々います。

ろう学校は遠くから通学しているケースもあり、時間がない…と児童・生徒が口にする場合があります。

現在は高等部の給食開始時間が13時を過ぎます。午前中のエネルギー源となる朝食は大事なものとなります。朝ごはんを食べる習慣と食べる時間の確保について、今一度考えてみましょう。

【2月の保健行事】

2日(水) 発達測定(幼稚部)



《家の外でも中でも感染症予防!》



感染症対策のお願い

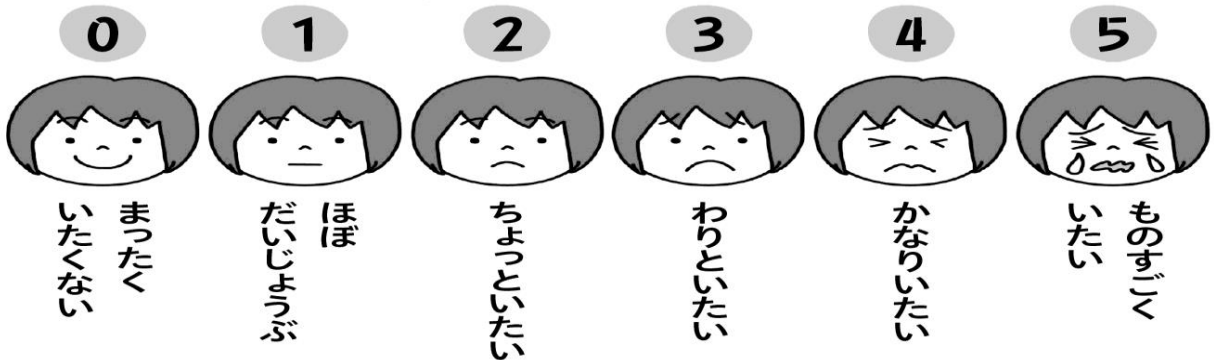
毎日の健康チェックカードの記入と御提出に御協力いただきありがとうございます。

発熱や風邪症状が本人、同居する方に見られる際には無理な登校をしないでください。

校内で症状が見られる際には早退となります。保護者様へ御連絡をしますので連絡が

つく体制に御協力をお願いします。

いまの「いたい」は、どのくらい？



『フェイススケール』は、自分のからだのいたみがどのくらいかを伝えるためのもの。少したてばなおりそうか、それともすぐお医者さんにみてもらう必要があるか…相手に知ってもらうことは、いまの状態にあわせて対応して、早く元気になるためにも大切です。

保健室でも、自分のからだの様子を自分のできるだけくわしく話すようにみなさんをお願いしています。でも、ちょっとむずかしいと思ったときは…使ってみてくださいね。



…保護者の方へ～「コロナ禍」と「日常」について～…

新型コロナウイルスの流行は、2年以上にわたって私たちの生活に影響を与え続けています。感染状況は不定期に変化し、社会全体でそのつど感染対策を強めたり、緩めたりを繰り返しています。言わば「コロナ禍」と「日常」を往復する中で、行動だけでなく気持ちをどう切り替えていくか—子どもたちはもちろん、大人でも、メンタルヘルスにおける大きなテーマになっているように感じます。

治療法やワクチンなどの開発・普及が進むことで、新型コロナウイルス感染症という病気に対する恐怖や不安は少しずつ収まりつつあります。その一方で、日常的なマスク着用、社会的距離の確保は長期的に見ていく必要があるようです。

学校でも引き続き、基本的な感染対策と並行して、子どもたちの心の様子に目を向けていきます。ご家庭でもぜひご留意いただければ幸いです。

